

お取引先さま各位

カカオ・チョコレート週刊ニュース 44号

2013/04/15 発行
株式会社 立花商店
生田 渉

お世話になります。カカオ・チョコレート関連のニュースを前週の出来毎の中から注目ニュースを5本程度ピックアップして、発行しています。カカオやチョコレート中心に取り扱っております弊社と致しましては、広く関係者の方々に読んでいただけるように、少しずつでも有益な情報をお届けできればと考えております。宜しくお願い致します。

1、市況の動き：主要産地のミッドクロップ豊作情報が出つつも市場は上昇中

①週最高：LDN 市場£1,504 / NY 市場\$2,268 (4月10日)	先週比 LDN+£23/NY+\$84
②週最低：LDN 市場£1,471 / NY 市場\$2,185 (4月8日)	先週比 LDN+35/NY+\$53
週内差額 (①-②)：LDN 市場£33 (傾向↑) / NY 市場\$83 (傾向↑)	

【4月8日(月)】両市場とも反発＝ショートカバーなどで
両市場とも大商いの中、反発した。ロンドン市場ではショートカバーによる上昇で、5月きりが1トン＝10ポンド程度のプレミアムで7月きりを上回った。
ディーラーらによると、この値動きはファンダメンタルズよりもテクニカルな要因に基づいている。前営業日の高値を上回った後、ストップロスの買いが入った。
ロンドン市場の7月きりは、35ポンド(2.4%)高の**1471ポンド**。5、7月きりのスプレッドは2ポンドのプレミアムで終了した。前営業日は5ポンドのディスカウント。直物が期近物に対してプレミアムとなったのは1月以来。
ニューヨーク市場の5月きりは、53ドル(2.5%)高の**2185ドル**で引けた。出来高は5万3000枚と、250日平均の2倍超となった。両市場の上伸は、コートジボワールやガーナなどの生産国からの売りが見込まれ、上値が抑えられる見通し。ロンドンを拠点とするココアディーラーは「コートジボワールやガーナは依然として多くの先物売りをこなす必要があり、これが市場の上値を抑えるだろう」と話した。

【4月9日(火)】NYは一時2カ月ぶり高値＝ロンドンも続伸
ニューヨーク市場はテクニカル要因の買いが膨らみ大幅続伸、5月きりは一時2222ドルと当ぎりとしては2月半ば以来、約2カ月ぶりの高値まで上昇した。終値は34ドル(1.6%)高の2219ドル。
2200ドルにあったテクニカルな上値抵抗線に近づくと、ストップロスの買いを巻き込んで一段高となった。
アトランティック・キャピタル・アドバイザーズの上級パートナー、ニック・ジェンタイル氏は、「何よ

りも、テクニカルな水準を上抜けたことが大きかった。(上昇の) 勢いがあった」と指摘した。ロンドン市場も続伸。7月きりは15ポンド(1%)高の1486ポンドで終了した。

【4月10日(水)】 ニューヨーク、ロンドンとも3日ぶり反落

ココア先物は、ニューヨーク、ロンドンの両市場とも3営業日ぶりに反落。西アフリカ地域の大量のミッドクロップ(4~9月)に加え、生産者筋の売り圧力が強まるとの観測に圧迫された。ニューヨーク市場の5月きりは、前日付けた2カ月ぶり高値の2222ドルと合わせて、序盤にダブルトップを形成したが、その後は値を消した。終値では、5ドル(0.2%)安の2214ドル。ロンドン市場の7月きりも、3ポンド(0.2%)安の1483ポンドで引けた。

【4月11日(木)】 両市場とも反発

ココア先物は、両市場とも反発。ニューヨーク市場の7月きりは14ドル(0.6%)高の2245ドルで終了。テクニカルな上値抵抗線だった2200ドルを着実に上回っている。トムソン・ロイターのデータによると、出来高は約6万2000枚で、30日間平均の2万5000枚の2倍超だった。価格の上昇は、西アフリカの生産者による先渡し取引を活発化させるとみられる。ロンドン市場の7月きりは5ポンド(0.3%)高の1488ポンドで引けた。

【4月12日(金)】 両市場とも続伸

両市場とも続伸して取引を終えた。ニューヨーク市場の7月きりは23ドル(1%)高の**2268ドル**で終了。一時2276ドルと1月下旬以来の高値を付けた。ディーラーによると、2200ドルの抵抗線を上抜けたことで、空売りの買い戻しが膨らんでいるという。ロンドン市場の7月きりは16ポンド(1.1%)高の**1504ポンド**で引けた。

2、コートジボワールのカカオ豆主産地、干ばつが改善(4/9)

コートジボワールのカカオ豆主産地は先週、十分な雨量と気温の上昇に恵まれた。作物の生育条件は、今月の雨期入りに伴って改善が進む見込み。農家やアナリストらが8日語った。コートジボワールは世界最大のカカオ豆生産国だが、乾期に2カ月間雨が降らないなどの厳しい天候に見舞われた。今月1日からミッドクロップ期が正式に始まったものの、農家は収穫開始を遅らせている。1月と2月には干ばつや猛暑で花やポッドの枯死率が上昇。ただ、3月には降雨があった。アビジャンの農業気象学者はロイター通信に対し、今月中には雨の頻度が高まり、雨量も十分になるだろうと指摘した。「現在は最大の雨期。雨は沿岸部と南部の大半で十分降った後、国内の残りの地域に次第に広がるだろう」との見通しを示した。

3、カカオ豆価格は当面横ばいか、やや下落＝バリーカレボーCFO(4/9)

スイスのチョコレート原料大手バリーカレボーのビクター・バリ最高財務責任者（CFO）は8日、ロイター通信との電話インタビューで、目先のカカオ豆価格は横ばいか、やや下落するとの見方を示した。同CFOは「ミッドクropp価格は比較的良好に推移すると見込んでいる。業界全体の在庫も多く、価格上昇を予測する声はほとんどない。価格は横ばいか、やや下落するとみている」と述べた。また、ココアバター価格はやや下がるものの高止まりすると予測。さらに、ココアパウダー価格は値上がりするだろうと指摘した。

4、ナイジェリア・カカオ豆生産、前年比30%増に＝12～13年度一業界団体幹部(4/10)

ナイジェリア・カカオ協会の幹部は9日、ロイター通信との電話インタビューで、カカオ豆産地の大半でまとまった雨が降り、気温も上昇したため、2012～13年度のカカオ豆生産は少なくとも前年度（20万トン）比30%増の26万トンになるとの見通しを示した。

同幹部によると、早い段階で雨が降ったことや日照に恵まれたため、農家らは、ライトクropp期（6～7月）のカカオ豆生産は回復すると予想している。カカオ豆の生育促進には、適度な降雨と日照が必要となる。同幹部は、昨年のカカオ豆生産は、大雨と日照不足の影響で、生産量が25万トンだった11年実績を20%下回ったが、生産は回復しつつあると説明した。

5、コートジボワール10～2月のカカオ半製品輸出、前年比3.3%増（4/11）

10日付のコートジボワール港湾統計によると、2012～13年度（12年10月～13年9月）のカカオ半製品輸出は2月までで累計15万4515トンとなり、前年同期比3.3%増加した。同国では、カカオ豆加工処理施設への投資により、08年以降、圧砕高が急増している

6、コートジボワールのカカオ豆生産、過去5年平均を上回る見通し＝好天で豊作に(4/11)

チョコレートメーカーと貿易会社を対象に10日までに実施した調査結果によると、コートジボワールのカカオ豆生産は好天を背景に豊作となる見通しだ。

ミッドクropp（4～9月）の予想中間値は40万トンと、過去5年の平均を上回る見込み。ただ、過去最高となった10～11年度（47万2000トン）には届かないもよう。12～13年度の平均予想レンジは35万～45万トン。国際ココア機関（ICCO）は12～13年度ミッドクroppの生産予想を44万トン前後としている。（

7、カカオ豆の農場出荷価格、準備基金で下支え＝コートジボワール(4/15)

コートジボワールのコーヒー・ココア評議会（CCC）幹部が12日の記者会見で語ったところによると、CCCはカカオ豆の農場出荷価格を下支えするため、準備基金から60億CFAフラン（≒11.7億円）を拠出することを決めた。

基金は同国がカカオ豆部門の改革に取り組む中、価格変動に備えて創設されたもので、CCCが活用を決めたのは初めて。

同国は改革に基づき、2012～13年度生産分を先渡し入札で売却し、メインクropp（10～3月）の政府保証付き農場出荷価格を1キロ＝725CFAフラン（≒141.59円）とした。CCCは先月、豆

が小さく品質が低めの中産作物を同700CFAフランに引き下げると発表。ただ、国際相場安が競売入札価格を下押しし、農場出荷価格を圧迫する連鎖反応が出たため、ワタラ大統領が準備基金による下支えを呼び掛けたとされる。

今週の関連ニュース) ブラジル、13～14年度の砂糖生産は過去最高(4/10)

ブラジル国家食糧供給公社(CoNaB)は9日、2013～14年度の砂糖生産量が過去最高を記録するとの見通しを示した。作付面積増加や作物に好ましい天候、植え替え作業によるサトウキビ生産量増加が見込まれることが背景。

CoNaBの見通しによると、砂糖生産の90%を担う中南部の生産量は過去最高の3920万トンに達し、前年度の3420万トンから15%増加する。エタノール生産量は238億リットルとなり、218億リットルから9%増。サトウキビ生産量は過去最高の5億9400万トンに達する見込み。前年度は5億3300万トンだった。

圧砕業者への聞き取り調査によると、中南部で生産されたサトウキビが砂糖とエタノールの生産に半分ずつ使われる見通しという。ただ、多くの民間アナリストは、砂糖価格が低いことを受けて、圧砕業者が砂糖よりもエタノール生産を好むと見ている。サトウキビ収穫は始まりつつあり、7月か8月ごろピークを迎える。

***特徴的なチョコレートを毎週ひとつ取り上げて紹介する『今週のチョコレート』を別添にて毎週配信しております!!こちらは何卒、ご愛読頂きますようお願い申し上げます。**

*特別の注釈がない記事は全て、基本的にロイター通信社のニュースソースを基に作成したものです。

《お問い合わせ先、配信希望または、停止のご連絡先》

株式会社 立花商店 東京支店 生田

TEL03-5783-3545 w-ikuta@tachibana-grp.co.jp